

## 日商簿記3級 ガイダンス

### <簿記とは…?>

会社の日々の取引を、帳簿(ノート)に記録することを簿記という。

簿記上の取引とは、a 資産、b 負債、c 純資産などが増加または減少する取引をいう。

では、次の①～④は簿記上の取引となるでしょうか。

- ① 当社は産業大店と商品の独占販売契約を結んだ。
- ② 店員を採用し、給料は月 25 万円とすることとした。
- ③ 商品10万円を販売し、代金の 10 万円は現金で受け取った。
- ④ 配達用の軽トラック 100 万円が盗難にあい、盗難届を警察署に提出した。

1. 会社の d 財政状態(e 貸借対照表)や f 経営成績(g 損益計算書)を明らかにする
2. 社会人に必須の基礎知識
3. 知名度、認知度も高く、人気の資格 (年間 30 万人以上が受験)
4. 年 3 回実施、大問 3 題を 60 分で解答、70%の正解で合格  
マークシートではなく、記述で解答 計算には電卓を用いる

### <3 級試験問題>

- 1問 仕訳15問…45点
- 2問 勘定記入 文章問題 補助簿の選択 帳簿記入…20点
- 3問 精算表・財務諸表作成…35点

### 3級受験者データ

平均合格率40%~50%

回	受験者数	実受験者数	合格者数	合格率
160 (2022. 2)	52,649 名	44,218 名	22,512 名	50.9%
159 (2021. 11)	58,025 名	49,095 名	13,296 名	27.1%
158 (2021. 6)	58,070 名	49,313 名	14,252 名	28.9%
157 (2020. 2)	70,748 名	59,747 名	40,129 名	67.2%

受験月:(2月・6月・11月) 絶対評価採点

…試験時間 60分 2級 90分

### <勉強方法について>

1. 勉強時間は、一般的に 80 時間~100 時間
2. 仕組みを理解し、計画的に学習する
3. インプットに時間をかけ過ぎない
4. 何度も解いて、問題に慣れる

## 〈参考資料〉

### 貸借対照表(B / S)と損益計算書(P / L)の関係 (当期純利益 = 黒字)

- 1/1 銀行からの借入金300円と元手200円でお店を始めた。
- 5/1 商品80円を仕入れ、代金は現金を支払った。
- 8/1 商品を売り上げ、代金100円は現金で受け取った。
- 12/31 決算となった。

(1/1)貸借対照表

<資産> 現金 500	<負債> 借入金 300
	<純資産> 資本金 200

(12/31)貸借対照表

<資産> 現金 520	<負債> 借入金 300
	資本金 200
	純利益 20

損益計算書(1/1~12/31)

<費用> 仕入 80 純利益 20	<収益> 売上 100
-------------------------	----------------

#### 「解説」

- 1/1 借入金 300 円と自分の小遣い200円を元入れしてお店を始めたので、1/1 現在お店には 500 円の現金がある。
- 5/1 500 円の現金の中から、80円使って商品を購入(仕入)したので、その商品購入後の現金の残高は 420 円である。
- 8/1 5/1 に購入した商品を100円で販売(売上)し、代金は現金を100円受け取ったので、その商品販売後の現金残高は 420 円+100 円で 520 円となる。
- 12/31 決算となり財務諸表を作成した。

まとめると、現金500円-80円+100円=12/31の現金残高は520円となる。  
その結果、現金は事業を開始した当初より20円増加したことがわかる。  
その増加した20円がお店の(利益)である。

#### 「用語の解説」

- a 財産などあるとうれしいもの    b 借金などあると悲しいもの
- c 財産から借金などを引いた差額    d 資金の運用形態とその資金の調達源泉
- e たいしゃくたいしょうひょう    f 儲けとそのコスト    g そんなえきけいさんしょ